

セッション 7 15:30 ~ 15:58

座長：古田浩人（和歌山県立医科大学第一内科）

17. 小胞体ストレスを減弱させ $\beta$ 細胞でのインスリン生合成を促進する新規化合物の同定

徳島大学疾患プロテオゲノム研究センター生体機能分野<sup>1</sup>、味の素製薬株式会社<sup>2</sup>、味の素株式会社<sup>3</sup>  
三宅雅人<sup>1</sup>、倉橋清衛<sup>1</sup>、森 智子<sup>1</sup>、宮本千伸<sup>1</sup>、津川和江<sup>1</sup>、三浦恭子<sup>2</sup>、北原吉朗<sup>3</sup>、親泊政一<sup>1</sup>

18. *Wfs1*欠損マウスにおける $\beta$ 細胞脱分化とその意義の解明

山口大学大学院医学系研究科病態制御内科学分野  
椎木幾久子、田部勝也、幅中雅行、香川正太、秋山 優、谷澤幸生

セッション 8 15:58 ~ 16:26

座長：長嶋一昭（京都大学大学院 医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科学）

19. プロリン異性化酵素Pin1を介した $\beta$ 細胞調節機構の解明

広島大学大学院・医歯薬・医化学<sup>1</sup>、朝日生命成人病研究所<sup>2</sup>、日本大学医学部<sup>3</sup>  
中津祐介<sup>1</sup>、森 馨一<sup>1</sup>、松永泰花<sup>1</sup>、山本屋武<sup>1</sup>、榎山暁史<sup>2</sup>、石原寿光<sup>3</sup>、浅野知一郎<sup>1</sup>

20.  $\beta$ 細胞における活性型XBP-1過剰発現のインスリン分泌への影響

東京大学大学院医学系研究科 分子糖尿病科学講座<sup>1</sup>、東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・代謝内科<sup>2</sup>  
寺井 愛<sup>1</sup>、鈴木 亮<sup>2</sup>、齋木邦子<sup>2</sup>、渡辺隆介<sup>2</sup>、周 聖浦<sup>2</sup>、窪田直人<sup>2</sup>、植木浩二郎<sup>1</sup>、門脇 孝<sup>2</sup>

休憩 16:26 ~ 16:40

特別講演 II 16:40 ~ 17:40

藤谷与士夫（順天堂大学大学院医学研究科 代謝内分泌内科学）

「Beta-Cell Reconstitution by Islet Cell-Type Interconversion」

Pedro Herrera, Ph.D.  
Professor Department of Genetic Medicine and Development  
University of Geneva Medical Center, Switzerland

奨励賞発表授与 17:40 ~ 17:55

藤谷与士夫（順天堂大学大学院医学研究科 代謝内分泌内科学）

閉会の辞 17:55 ~ 18:00

薄井 勲（富山大学大学院 医学薬学研究部 内科学（1））

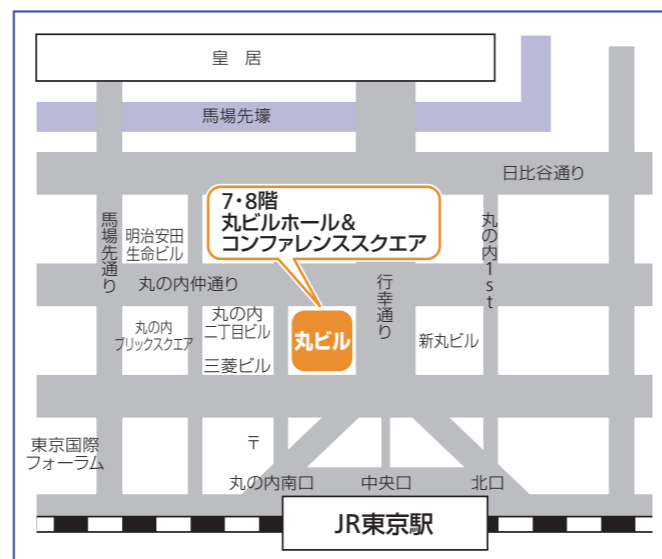
●交通機関のご案内

■電車でのアクセス

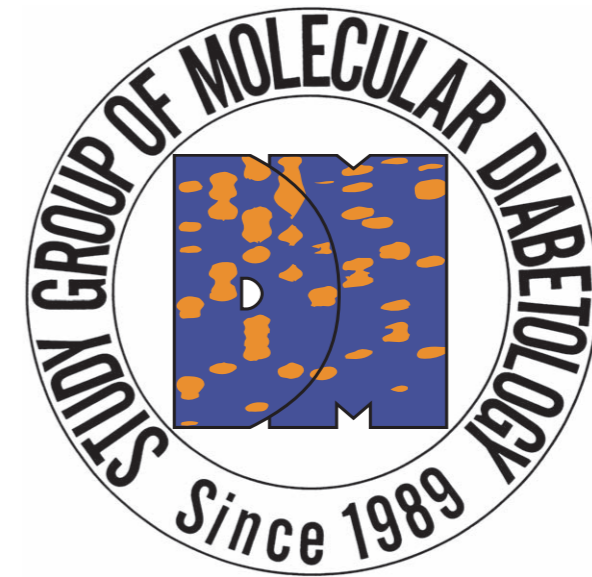
- JR「東京駅(丸の内南口)」…徒歩1分
- 丸ノ内線「東京駅」…地下道より直結
- 千代田線「二重橋前駅」…地下道より直結

■車でのアクセス

- 首都高速道路「都心環状線丸の内出口」…5分



# 第27回 分子糖尿病学シンポジウム プログラム



会 期 2015年12月5日(土)  
9:30~18:00

会 場 丸ビルホール&コンファレンススクエア  
〒100-6307  
東京都千代田区丸の内2-4-1 丸ビル7・8階  
Tel 03-3217-7111

代表世話人 藤谷 与士夫  
順天堂大学大学院医学研究科 代謝内分泌内科学

共 催 分子糖尿病学研究会  
ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

後 援 日本糖尿病学会

ホームページ <http://www.wakayamanet.or.jp/mol-dm>

※ 会場内でのカメラ・ビデオによる撮影は厳禁です。ご協力お願い致します。

**開会の辞** 9:30 ~ 9:35 **藤谷与士夫** (順天堂大学大学院医学研究科 代謝内分泌内科学)

**セッション 1** 9:35 ~ 10:17 **座長：松岡孝昭** (大阪大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝内科学)

- 1. NAFLDにおけるhypoxia-inducible factor 1 $\alpha$ の活性化はコレステロール胆石形成を促進する**  
東北大学大学院医学系研究科 糖尿病代謝内科学分野<sup>1</sup>、東北大学病院 薬剤部<sup>2</sup>、東北大学大学院医学系研究科 消化器病態学分野<sup>3</sup>、東北大学大学院医学系研究科 病理診断学分野<sup>4</sup>、山形大学医学部 消化器内科学分野<sup>5</sup>  
浅井洋一郎<sup>1</sup>、山田哲也<sup>1</sup>、突田壮平<sup>1</sup>、高橋 圭<sup>1</sup>、前川正充<sup>2</sup>、本間 緑<sup>1</sup>、近藤泰輝<sup>3</sup>、澤田正二郎<sup>1</sup>、中村保宏<sup>4</sup>、笹野公伸<sup>4</sup>、眞野成康<sup>2</sup>、上野義之<sup>5</sup>、下瀬川徹<sup>3</sup>、片桐秀樹<sup>1</sup>
- 2. 腸管上皮Ccl2を介した腸管マクロファージ浸潤による慢性炎症がインスリン感受性を調節する**  
慶應義塾大学医学部腎臓内分泌代謝内科<sup>1</sup>、国立成育医療研究センター 成育遺伝研究部<sup>2</sup>、神戸大学大学院医学研究科糖尿病・内分泌内科<sup>3</sup>、千船病院代謝内分泌内科<sup>4</sup>、Memorial Sloan-Kettering Cancer Center<sup>5</sup>  
川野義長<sup>1</sup>、中江 淳<sup>1</sup>、渡辺信之<sup>2</sup>、菊地徹洋<sup>1</sup>、楯谷三四郎<sup>3</sup>、田守義和<sup>3,4</sup>、Eric G. pamer<sup>5</sup>、小野寺雅史<sup>2</sup>、伊藤 裕<sup>1</sup>
- 3. NFIAは褐色脂肪遺伝子エンハンサーにおいて選択的にPPAR $\gamma$ と共局在することで褐色脂肪の遺伝子プログラムを制御する**  
東京大学大学院医学研究科 糖尿病・代謝内科<sup>1</sup>、東京大学先端科学技術研究センター ゲノムサイエンス分野<sup>2</sup>、東京大学大学院医学研究科 脂肪細胞機能制御学<sup>3</sup>、国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED) /CREST<sup>4</sup>、独立行政法人 日本学術振興会 (JSPS)<sup>5</sup>、広島大学大学院医歯薬保健学研究院 分子内科学講座<sup>6</sup>  
平池勇雄<sup>1,4,5</sup>、脇 裕典<sup>1,3,4</sup>、于 静<sup>1,4</sup>、中村正裕<sup>1</sup>、三宅加奈<sup>1,4</sup>、鈴木 顕<sup>1,4</sup>、仲木 竜<sup>2,4</sup>、小林博文<sup>1,4</sup>、和田孝人<sup>1,4</sup>、孫 威<sup>1,4</sup>、青山倫久<sup>1,4</sup>、廣田雄輔<sup>1,4</sup>、長野 学<sup>6</sup>、大野晴也<sup>6</sup>、沖 健司<sup>6</sup>、米田真康<sup>6</sup>、堤 修一<sup>2,4</sup>、油谷浩幸<sup>2,4</sup>、山内敏正<sup>1,4</sup>、門脇 孝<sup>1,4</sup>

**セッション 2** 10:17 ~ 10:59 **座長：山内敏正** (東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・代謝内科)

- 4. 栄養飢餓により活性化する転写因子CREB3L3は肥満及び糖代謝を改善する**  
筑波大学 医学医療系 内分泌代謝・糖尿病内科<sup>1</sup>、筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構<sup>2</sup>  
佐藤 葵<sup>1</sup>、中川 嘉<sup>1,2</sup>、松坂 賢<sup>1</sup>、島野 仁<sup>1,2</sup>
- 5. 脂肪組織肥大化におけるPDGF依存的血管新生の意義**  
富山大学大学院 医学薬学研究部 (薬学系) 病態制御薬理学<sup>1</sup>、金沢大学 脳・肝インターフェースメディシン研究センター<sup>2</sup>、富山大学大学院 医学薬学研究部 (医学系) 病態病理学<sup>3</sup>  
小野木康弘<sup>1</sup>、和田 努<sup>1</sup>、神谷知江<sup>1</sup>、稲田健人<sup>1</sup>、稲葉有香<sup>2</sup>、木村久美<sup>2</sup>、井上 啓<sup>2</sup>、山本誠士<sup>3</sup>、石井陽子<sup>3</sup>、笹原正清<sup>3</sup>、恒枝宏史<sup>1</sup>、笹岡利安<sup>1</sup>
- 6. 海洋性カロテノイド色素Astaxanthinの肥満モデルマウスにおける作用の検討**  
富山大学医学部第一内科<sup>1</sup>、富山大学医学教育学<sup>2</sup>、アスタリール株式会社<sup>3</sup>  
西田康宏<sup>1,3</sup>、石木 学<sup>2</sup>、瀧川章子<sup>1</sup>、岡部圭介<sup>1</sup>、角 朝信<sup>1</sup>、小清水由紀子<sup>1</sup>、岩田 実<sup>1</sup>、薄井 勲<sup>1</sup>、戸邊一之<sup>1</sup>

**セッション 3** 10:59 ~ 11:27 **座長：石原寿光** (日本大学医学部内科学系糖尿病代謝内科学分野)

- 7. 脂肪酸受容体GPR120は上部小腸K細胞に高発現し脂肪摂取後のGIP分泌に深く関与する**  
京都大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科学<sup>1</sup>、京都大学大学院薬学研究科 薬理ゲノミクス分野<sup>2</sup>  
岩崎可南子<sup>1</sup>、原田範雄<sup>1</sup>、佐々木香月<sup>1</sup>、山根俊介<sup>1</sup>、飯田桂子<sup>2</sup>、濱崎暁洋<sup>1</sup>、鈴木和代<sup>1</sup>、城尾恵里奈<sup>1</sup>、ナステスカダニエラ<sup>1</sup>、渋谷公尊<sup>1</sup>、原田貴成<sup>1</sup>、平澤 明<sup>2</sup>、稲垣暢也<sup>1</sup>
- 8. グルカゴン分泌制御におけるインスリン作用の意義の探索**  
大阪大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝内科学  
桂 央士、河盛 段、松岡孝昭、下村伊一郎

**セッション 4** 11:27 ~ 12:09 **座長：金藤秀明** (川崎医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科学)

- 9. ヘパトカインセレノプロテインPは筋受容体LRP1を介して“運動療法抵抗性”を惹起する**  
金沢大学 医薬保健研究域医学系 包括的代謝学<sup>1</sup>、金沢大学 医薬保健研究域医学系・恒常性制御学<sup>2</sup>、日本科学技術振興機構さきがけ<sup>3</sup>、同志社大学 生命医科学部 医生命システム学科<sup>4</sup>  
高山浩昭<sup>1,2</sup>、御簾博文<sup>1,3</sup>、斎藤芳郎<sup>4</sup>、金子周一<sup>2</sup>、篁 俊成<sup>1</sup>
- 10. 高脂肪・不活動による骨格筋インスリン抵抗性惹起メカニズム**  
順天堂大学大学院 スポーツロジックセンター<sup>1</sup>、順天堂大学 代謝内分泌内科学<sup>2</sup>、東京大学 老年看護学・創傷看護学教室<sup>3</sup>、順天堂大学 研究基盤センター 生体分子研究部門<sup>4</sup>  
寛 佐織<sup>1</sup>、田村好史<sup>1,2</sup>、池田真一<sup>3</sup>、加賀直子<sup>4</sup>、藤谷与士夫<sup>2</sup>、河盛隆造<sup>1</sup>、綿田裕孝<sup>1,2</sup>
- 11. 高血糖は細胞内低酸素とミトコンドリア由来活性酸素種(mtROS)産生を誘導し、両者の相互作用が糖尿病合併症を進展する**  
熊本大学大学院生命科学研究部代謝内科学分野<sup>1</sup>、熊本大学大学院生命科学研究部糖尿病分子病態解析学分野<sup>2</sup>  
佐田公範<sup>1</sup>、西川武志<sup>2</sup>、久木留大介<sup>1</sup>、梶原伸宏<sup>1</sup>、本島寛之<sup>1</sup>、松村 剛<sup>1</sup>、荒木栄一<sup>1</sup>

**休憩** 12:09 ~ 12:20

**特別講演 I** 12:20 ~ 13:20 **座長：植木浩二郎** (東京大学大学院医学系研究科 分子糖尿病科学講座)

「多能性幹細胞を用いた立体的臓組織作成」  
川口義弥 (京都大学 iPS細胞研究所 臨床応用研究部門 臓器形成誘導分野 教授)

**昼食** 13:20 ~ 14:20 (情報提供 ノボ ノルディスク ファーマ株式会社)

**セッション 5** 14:20 ~ 15:02 **座長：山田哲也** (東北大学院医学系研究科 糖尿病代謝内科学分野)

- 12. p53下流遺伝子FDXRの鉄代謝調節を介したNAFLDにおける役割**  
千葉大学大学院医学研究院細胞治療内科学  
佐久間一基、田中知明、横手幸太郎
- 13. 肥満により脂肪組織に誘導される膜蛋白GpnmBの脂肪肝炎抑制効果**  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 腎・免疫・内分泌代謝内科学  
和田 淳、片山晶博、中司敦子、江口 潤、村上和敏、勅使川原早苗、山口哲史、布上朋和、天田雅文、肥田和之
- 14. 脂肪肝合併2型糖尿病の病態における肝臓の脂肪酸合成酵素の役割の解明**  
国立国際医療研究センター研究所 糖尿病研究センター 分子代謝制御研究部<sup>1</sup>、日本医科大学大学院生体機能制御学<sup>2</sup>、東京女子医科大学病理診断科<sup>3</sup>、国立国際医療研究センター<sup>4</sup>  
八木 孝<sup>1,2</sup>、酒井真志人<sup>1</sup>、辻村-早川知子<sup>1</sup>、矢野宏行<sup>1,2</sup>、満島 勝<sup>1</sup>、長島洋二<sup>3</sup>、南 史朗<sup>2</sup>、春日雅人<sup>4</sup>、松本道宏<sup>1</sup>

**セッション 6** 15:02 ~ 15:30 **座長：西川武志** (国立病院機構熊本医療センター 糖尿病・内分泌内科)

- 15. 糖尿病性心筋症の発症における12-Lipoxygenase のシグナル伝達機構**  
東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科  
鈴木博史、坂本昌也、井内裕之、大橋謙之亮、林 毅、東條克能、宇都宮一典
- 16. 網羅的メタボローム解析による糖尿病性神経障害代謝変化の検討**  
弘前大学大学院医学研究科 分子病態病理学講座  
水上浩哉